社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和05年04月10日

計画の名称	中種子町における通学路の交通安全確保による安心・安全で暮らしやすい地域づくり（防災・安全）		
計画の期間	平成３１年度　～　令和０４年度　(4年間)	重点配分対象の該当	○
交付対象	中種子町		
計画の目標	通学路の安全対策が必要な箇所に対し、対策を実施した割合の向上を図る。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	118	A	118	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H33末	H34末
1	通学路における歩道等の整備率を４年間で100%にする。			
	通学路における歩道等の整備率を４年間で100%にする。	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

案件番号：　0000490210

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H31	R02	R03	R04	R05	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	離島	中種子町	直接	中種子町	市町村道	交安	(2)下馬通線・野間工区	歩道拡幅	中種子町	■	■	■	■		118		－
											小計						118		
											合計						118		

案件番号：　0000490210

事　後　評　価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 社会資本整備総合計画に基づき，中種子町建設課にて実施。	事後評価の実施時期 令和5年2月 公表の方法 ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	通学路における安全対策として，歩道等の整備率を４年間で100%を達成することが出来きた。その結果，危険箇所の解消を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
交通安全施設等整備事業の推進に関する法律第3条の規定に基づき指定を行った路線３路線（上方１号線・上方高峰線・下馬通線）については，歩道整備や外側線の引き直し及び歩道空間のカラー舗装化などの実施により，安心・安全な道路交通環境の構築が図れた。今後は中種子町公共施設等総合管理計画に基づき，通学路の安全対策が必要な箇所に対しては対策を講じるとともに，老朽化部分への長寿命化対策などの維持補修を推進し，安心・安全な道路交通環境を構築していく方針。	

案件番号： 0000490210

○目標値の達成状況

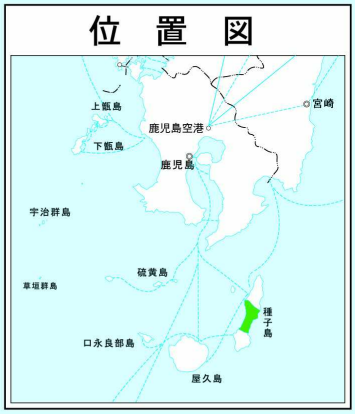
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最　終 目標値	100%	
	最　終 実績値	100%	

案件番号：0000490210

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平 16 総複、第 697 号)」

禁複製転載

鹿児島県 熊毛郡 中種子町管内図



A-01-001
歩道拡幅

平成十七年 中種子町役場